

第3回 白石市まち・ひと・しごと創生戦略会議

1 日 時 平成27年9月15日(火) 午後3時~午後4時57分

2 場 所 白石市役所4階 第4会議室

3 内 容 1) 事務局より(仮称)白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(中間案)について説明。

○総合戦略(中間案)に関する委員からのご意見

・KPIが何の事業に対応しているのかわからないのですが、目標全体に対するKPIということによろしいのでしょうか。

→個別の事業に対応したKPIではなく、全体としてのKPIと捉えていただきたいと思います。

・基本目標は総合計画に沿って設定したかと思いますが、国の目標を見ると、雇用について書かれています。この基本目標ですと、ぼやけていて何がテーマなのかわかりづらいのではないのでしょうか。新しい価値というのもわかりづらい気がします。サブテーマをつけ、サブテーマにあった数値目標を整理するというのはどうでしょうか。KPIについては、具体的な施策を行うにあたっての評価指標と捉えていたのですが、違うのでしょうか。」

→基本目標については、国の目標から逸脱しているとは考えておりませんでした。サブタイトルとする方がわかりやすければ、国の目標である『地方における安定した雇用を創出する』がわかるような表現に見直したいと思います。KPIについてですが、今現在で把握できる評価指標を考えておりました。具体性がない事業を評価指標にはできませんので、計画が具体化した段階で評価指標を検討していきたいと思います。」

・屋内遊び場の整備事業について、土日や休日に開放することは想定しているのでしょうか。市内、市外在住者に関わらず、是非欲しいという意見が複数あります。保育士などのスタッフがいれば尚良いという話がありました。図書館や子供の遊び場などが別々にあるのではなく、集約化されていることも重要だと思います。

→今後検討しなければならないことだと思います。

・山形県の天童市では入場制限がかかるほど、混んでいます。大型施

設の中にあることや、使用料が無料であることなどが良いと思います。名取では、ショッピングセンターと併設しており、子どもを遊ばせるついでに買い物ができるメリットがあるので、使用料を払っても良いかと思います。しかし、白石市で使用料を取るとなると、どれだけ人が集まるのか課題です。

・『子育て情報誌“子育てホッとマップ”作成事業』についてですが、今はネットが主流です。WEB配信で情報を更新していくのが、より使いやすいと思います。

『ベビーズヴァカスタウンしろいし』について、オムツ交換台や授乳スペースが少ないという意見が職場で出ており、早急に対応が必要だと思います。

『一時預かり事業』については、有料であったとしてもニーズはあると思います。

『学力向上フォローアップ事業』について、場を提供するのはよいですが、どんな人が講師になるのかが重要だと思います。ただ場所を提供し、無料で大学生が教えますということだけでは難しいと思います。

・『一時預かり事業』について、時間帯について検討していただきたいです。日中だけでなく、夕方や夜も受け入れが可能にしてほしいです。

『新設産科』については、もっと具体的に、実現に向けた早急な対応が必要だと思います。

『子育て世帯新幹線通勤助成事業』についてですが、直接的に負担が減ることになかなか繋がらないと思います。本数が少ない分時間が合わないことが多いので、金銭面だけでなく本数などの具体的な検討が必要だと思います。

・『子育て世帯買い物わくわく事業』について、宮城県でも同じような事業を行っています。県で実施していてどれくらい上手く行っているのかを踏まえる必要があると思います。

・『新設産科医及び小児休日・夜間医療』について、何かあれば対応できるような体制があることが大事だと思います。また、夜間でどこに行ったらよいかわからず困ったという声もあります。早急な対応が必要です。

・3月でないと保育園に入れないという意見がありました。いつでも入園できるような仕組みが必要だと思います。

→制度上では、年度の途中で入ることはできます。希望する保育園で空きがなかったのではないかと思います。

・プロジェクトチームの案を全部やることは不可能ですので、この場でもう少し絞り込みたいと思います。地方創生の考え方は、初期投資の助成はありますが、その後は地域の活力で盛り上げていかなければならないものです。地域の事業者も参画できるようなプロジェクトでなければならないと思います。そういった観点で、何をすれば目的が達成できるのかを考えていただき、ご意見をいただければと思います。

・4つの目標でそれぞれ事業内容が被っているものがありますが、切り分けができるのでしょうか。

→ジャンルを1つにくくることが難しいものがあります。必ずしも4つに分けるということではなく、1つの施策で4つのことができるような事業が理想だと考えています。

・各課で施策をはじめた時に、目的とずれてしまうことが心配です。横断的な立場が必要なのではないかと。

→庁内会議で施策の摺り合わせを行うなど、連携して進めていきたいと思います。

・NPO 法人や近隣市町村との連携も考えた方が良くと思います。庁内だけで解決しようとせず、ノウハウを持っている団体等に任せることも大切だと思います。

→市民団体の皆さんと一緒に取り組まなければならないことですので、是非そういった情報を教えていただきたいと思います。他の市町村との連携については、検討しております。ただ、医療費助成等については市町村間の競争になってしまっております。ここは是非、県に音頭をとっていただき、摺り合わせをできればと思います。

・PDCA サイクルができる指標が何かという整理が必要かと思います。また、個別の施策のメリットだけでなく、リスクの開示も必要だと思います。この会議には産学官金労言の分野の方々がいらっしゃいますので、市だけでなく、それぞれの担当分野を明示しても良いと思います。

・通学費の補助事業について、非常にありがたいものだと思うのですが、白石市から福島や仙台の大学に通うことが白石市の定住につながるのでしょうか。学生は、大学で学んだことを活かせる場所に行くと思います。費用対効果があまりないのではないのでしょうか。

・既存事業者の新しい挑戦についての補助が薄く感じます。具体的に何をしたら良いかわからない、申請書の書き方がわからないといった事業者さんもいます。コーディネーターを設置するのが良いと思います。また、地域出身者の企業 OB の方に協力していただければ、定年後の方の活躍の場にも繋がると思います。

・施策の柱がないように思います。今後5年間のビジョンを描いていただきたいと思います。

・情報発信に力を入れてはどうでしょうか。紙媒体ではなく、スマートフォンを活用しても良いと思います。

・公共施設やサービスは、削らなければいけなくなることは明らかです。施策を継続していくには、民間の力が必要だと思います。出された案に対して、良い悪いではなく、同じ目線で議論できる場が必要なのではないのでしょうか。特に数値目標は、民間の視点と乖離していると思います。観光の分野においても、観光客数は民間では目標になりません。収入など、民間と同じ目線で検討した方が良いのではないのでしょうか。

→役所の目標となると、売り上げや所得等の数値を設定することが難しく、課題と感じております。今回は、市からの提案に対してご意見をいただく体制になってしまいましたが、ご意見は総合戦略に盛り込んでいきたいと思っております。作って終わりではなく、最低5年間は検討したり改定したりしていきますので、是非提言をいただきたいと思っております。

・子供の貧困率が問題になっています。保護者の所得をあげれば、改善されるのは明らかです。世帯あたりの所得と、子供の学力に相関関係があることも明らかになっており、重要だと感じています。総花的に実施しても効果は上がらないと思います。何に重点的にお金を当てていくのか、費用対効果を踏まえながら施策を絞り込んでほしいと思っております。

・何か1つに絞ることは難しいと思います。例えば、室内遊び場の隣にある地場産品売り場の売れ行きが良く、経済効果があり、地域活性化に影響を与えている。というように、他分野にも波及効果のある事業を検討すべきだと思います。

・事業全体を引っ張っていくような事業が大事だと思います。ぜひ、波及効果を狙った検討をしていただきたいと思います。観光以外の目玉をつくり、集客する方法も考えられると思います。県内各地の旅行者は、仙台で宿泊し、日帰りで各地へ行く傾向があるようです。仙台に一極集中しないような企画をつくっていただければと思います。地域の皆様がどのように選択していくかが重要になりますので、残り時間わずかですが議論を進めていきたいと思います。

・役所の役割として最も重要なのは、補助金交付ではなくマッチング機能だと思います。若者の地元志向が強くなっている一方で、企業は高齢化が進み、若い人が欲しいが来てくれないという状況があります。このマッチングに特化した取り組みが良いと感じます。テーマを1つに絞るのではなく、アクションを決めて、そこにどういう参加の仕方があるかを考えていった方が良いと思います。役所だけではできないと思います。

・総合戦略としては、今の案をベースに更にメリハリのついたものにしてほしいと思います。これからのパブリックコメントも含めて、最終的な案を作成していただければと思います。